

第 5 4 号

令和3年12月15日発行
— 編集・発行 —
豊津地区まちづくり委員会
(情報発信専門部)

とよつだより

遊びの
広 場

第26回

とよつまつり

今年はちょっとにぎやかに



作品展



十一月十八〜二十一日の四日間、「第二十六回とよつまつり」を開催しました。

昨年は、新型コロナウイルスの影響により、作品展しかできませんでしたが、今年はコロナ禍でも賑わいを取り戻そうと、皆様のご協力をいただき、屋外での催し物も行いました。

これまでのような模擬店や芸能発表まではできませんでしたが、作品展の他に、喫茶コーナー、カレードンぶりのテイクアウトやシクラメンの販売といった模擬店の復活、子どもたちが集う「遊びの広場」などを企画しました。

喫茶コーナーや「遊びの広場」など屋外の催しは二十日(土)と二十一日(日)に行いましたが、天気にも恵まれてまずまずの人数となりました。

とはいっても、一昨年までと比べると寂しさは否めません。来年こそは、新型コロナが収束し、またいつもの笑顔と会話がふれる「とよつまつり」ができることを切に願います。

模
擬
店

URL

QRコード Facebook

Facebook(フェイスブック):<https://www.facebook.com/toyotsumachi>Twitter(ツイッター):<https://twitter.com/toyotsumachi>

Twitter



爪木の 八朔まつり を見学 〜レッツ・ウォーキング〜

「8月1日」と言えば『八朔』。今回のレッツ・ウォーキングは、公民館から爪木の熊野神社まで行き、**八朔まつり**を見学してきました。(参加者10人)

現地では、遠藤喜平さん(写真左)から**八朔まつり**の概要や、爪木地区内に数多く祀られている神様の話を聞かせてもらいました。その後、すずらん子ども会の児童たち手作りの行灯で彩られた21段の石段を登り、熊野神社をお参りました。



「**八朔まつり**」は、五穀豊穡を願い、そして祝う行事です。このような行事が子どもたちも一緒に、地域の年中行事の一つとして定着していることから、爪木地区の皆さんの信仰心が篤いことがあらためてわかりました。

これからも長く続いてほしいですね。



延期していた**ソフトボール大会**を、十一月十四日にト伝の郷運動公園で開催しました。今年も五チームの参加となりましたが、清々しい天候の下、日頃のストレス発散も含め、皆さん元気いっぱいプレーし、気持ち良い汗を流しました。結果は爪木区の優勝。皆さん、お疲れ様でした。



ソフトボール大会
爪木区がV
新田区が準V

三世代で グラウンドゴルフ を楽しみました

10月23日、晴天に恵まれて気持ち良い日差しの中、三世代(四世代?)交流グラウンドゴルフを実施しました。



子どもたちやお父さん・お母さんたちにとっては初めての経験でしたが、日々グラウンドゴルフを楽しんでいる大船津グラウンドゴルフ会の皆さんが先生になり、打ち方や力加減などを丁寧に教わり、徐々にコツをつかんでいきました。おじいちゃんやおばあちゃんたちとの会話も弾み、楽しい時間を過ごすことができました。



▲ 熟練の技を伝授

今年も流川で ホタル を鑑賞しました



7月3日、恒例のホタル見学会を行いました。昨年は、コロナ禍のため、自主的な見学会でしたが、今年度は事業として実施し、総勢で96人の参加がありました。

まず、玄関前でホタルの生態などを学習。その後、大船津公会堂付近の流川に移動し、暗闇に光る「**平家ボタル**」を探しました。

参加者によると、今年は少なく感じられたようですが、それでも10匹以上を確認し、中には手に乗せてじっくり見た児童もいました。来年もいるといいな!



▲ 出発前にホタルについて簡単に学習



▲ 間近でホタルを確認

◆ ◆ ◆ つぶやき ◆ ◆ ◆
R東日本主催の「駅からハイキング」が行われました。コースは鹿島神宮駅を発着で、天狗堂の墓や西の一之鳥居などを巡るもの。豊津公民館にトイレ休憩で立ち寄る人もいました。が、口々に大塚辺田付近の水田風景や、北浦(鰐川)の穏やかな水面と一之鳥居など、豊津の魅力をほめてくれ、嬉しいなりました。いつまでもこの「きれいな豊津」を維持していきたいですね。

◆ ◆ ◆ 四つの縁 ◆ ◆ ◆
縁と、大きく分けて『四つの縁』で支え合っている、という話には、皆さんうなずいていました。目的に向けて、それぞれが目標を掲げ、できることからやる。何事もそうですが、地域コミュニティ作りも同じ。豊津のみんなが支え合っているように。



「公民館を核とした共創のまちづくり」を目標とし、市民の学習と活動を支援する公民館の役割などについて考える地域活動学習会が、十月十七日に開かれました。講師である元茨城大学准教授の長谷川幸介先生(写真右)から、わかりやすく、人間の進化、社会(組織)の転換、そして公民館の役割等の話がありました。人は、**血縁・地縁・友縁・職縁**と、大きく分けて『四つの縁』で支え合っている、という話には、皆さんうなずいていました。目的に向けて、それぞれが目標を掲げ、できることからやる。何事もそうですが、地域コミュニティ作りも同じ。豊津のみんなが支え合っているように。



『支え合いが大事!』を再認識

URL

まちづくり市民センターホームページ(豊津発行物ページ)
<http://kashimashi.info/kouminkan/page-53/page-133/>

QRコード

